

カタツムリの外来種

オオクビキレガイを



植木鉢
の下

畑

さがしています

公園

庭

河川敷

学校の
花だん

マンション
の植えこみ

みつけたら… 写真をとって、場所をお知らせください。

みわけ方

こども

おとな

先端は丸い
(とがらない)

殻の先端を上にして殻の口を見ると、
口が右側にくる(右巻き)

最大チェックポイント!

成長すると
殻の先端が欠けてなくなる
(名前の由来)

◀実物大

成長すると
殻の長さは
2~3センチ

情報の送り先・お問い合わせ

大阪市立自然史博物館 動物研究室 (担当: 石田)

電子メール: sukumiringo@icloud.com (写真を添付し、地名等を書いて送ってください)

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

電話: 06-6697-6221 / ファクス: 06-6697-6225

※写真をお送りいただいた方には、折り返しオオクビキレガイかどうかをお答えします。

※地名の確認など、こちらから追加でお尋ねする場合がありますので、ご協力ください。

・ご承諾のない限り、ご報告いただいた方のお名前を公開することはありません。

・生息地点の情報は原則としてピンポイントでは公開せず、1km 四方程度のメッシュマップ (または同等の情報解像度) で公開します。ただし、公共用地などでの分布情報は公開することがあります。

オオクビキレガイって？

オオクビキレガイは、地中海沿岸原産のカタツムリです。1980年代後半に北九州市に移入し、現在では西日本の複数の府県に定着しています。畑や公園など、比較的開けた環境に生息しています。葉物野菜の新芽を食べる農業被害があるほか、他のカタツムリを食べてしまうこともあります。2010年以降、大阪府でもみつかるようになり、分布が拡大傾向にあります。

大阪市立自然史博物館では、大阪府での分布状況を調べています。分布の拡大過程を知ること、オオクビキレガイの生態がわかり、今後の対策に役立つ可能性があります。みつけたら、ぜひ情報をお寄せください。



オオクビキレガイが確認されている府県



どんなところにいるの？

オカダンゴムシや、チャコウラナメクジとすむ場所が似ています。庭なら植木鉢やプランターの下、公園なら落ち葉のたまっているところ、石やブロックの下、散水栓ボックスの中などを探してみてください。



よく似た他のカタツムリとのみわけ方

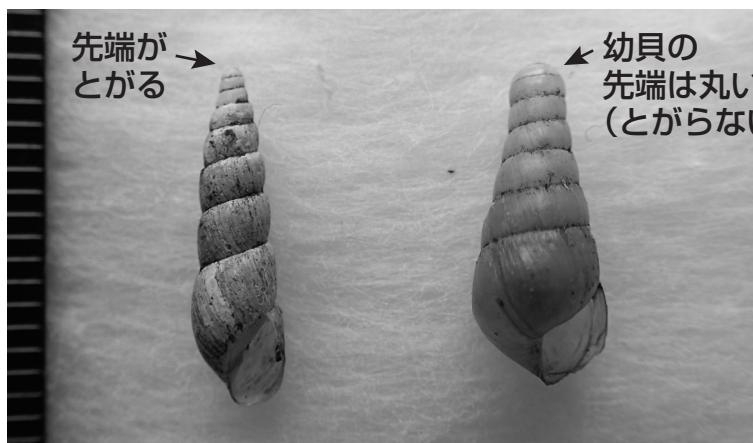
キセルガイのなかま



殻口が左側になる

- ・キセルガイ類の殻は「左巻き」。殻の先端を上にした時、殻口が左側になる。
- 左巻きの場合は、オオクビキレガイではありません。

オカチョウジガイのなかま



トクサオカ
チョウジガイ

オオクビキレガイ
(幼貝)

- ・大阪平野で見られるオカチョウジガイ類は、殻の長さが1.5cm未満。
- ・オカチョウジガイ類の殻の先端はとがっていますが、オオクビキレガイの幼貝の先端は丸くなっています（成長するところは欠け落ちます）。
- 殻の長さ1.5cm未満の場合は、殻の先端をチェック。

情報の送り先・お問い合わせ

大阪市立自然史博物館 動物研究室（担当：石田）
電子メール：sukumiringo@icloud.com
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23
電話：06-6697-6221 / ファクス：06-6697-6225

大阪府の鉄道駅を中心に、オオクビキレガイを探す市民参加調査「電車に乗ってオオクビキレガイを探そう」も実施中です。今の分布状況など、さらに詳しい情報はこちらから：
<https://sites.google.com/site/ookubikiregai/>

オオクビキレガイを探そう

